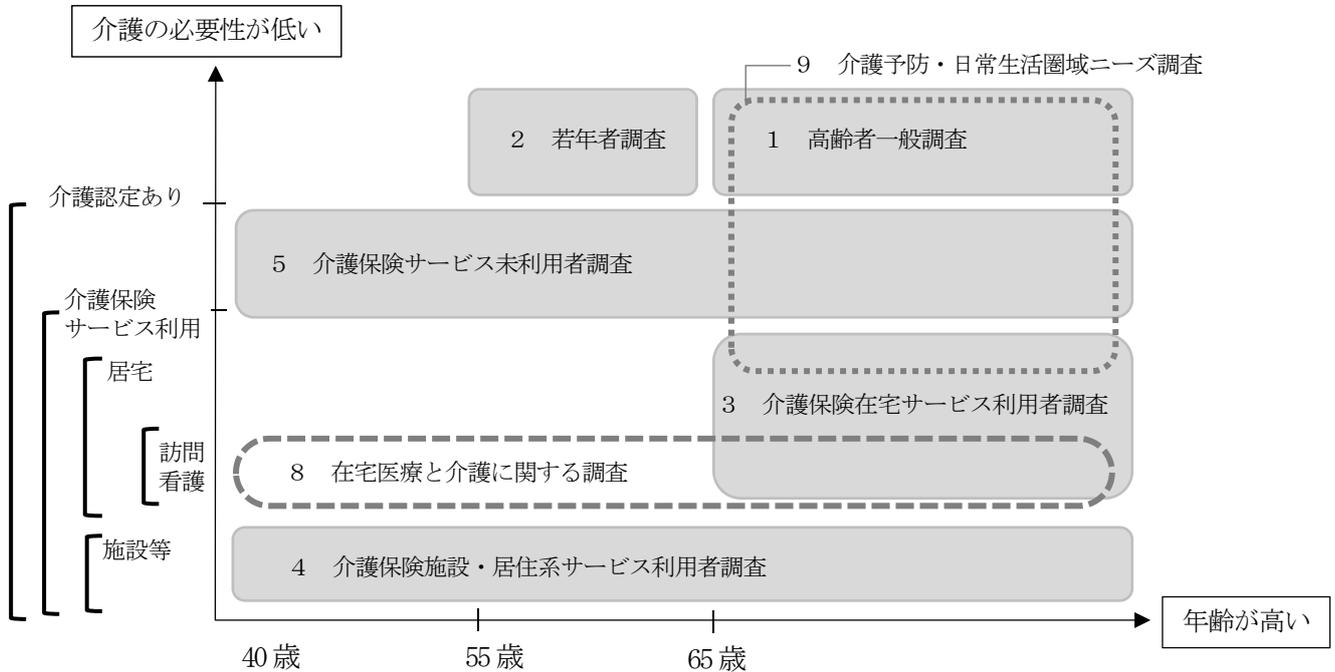


## 第3章 調査結果のまとめ



# 1 各調査の位置付け

各調査の位置付けは、以下のとおり考えることができる。



※上記以外に、介護や医療のサービスを提供する事業者を対象とした調査を実施

- 6 介護保険サービス事業者調査
- 7 介護支援専門員調査
- 10 医療機関調査

| 調査種別 |                     | 対象者   |
|------|---------------------|---|
| 1    | 高齢者一般調査             | 市内の介護保険第1号被保険者（要支援・要介護認定者を除く）                 |
| 2    | 若年者調査               | 市内在住の55歳～64歳の人（要支援・要介護認定者を除く）                 |
| 3    | 介護保険在宅サービス利用者調査     | 要支援・要介護認定者のうち、介護保険居宅サービスを利用している人              |
| 4    | 介護保険施設・居住系サービス利用者調査 | 要支援・要介護認定者のうち、介護保険施設、グループホーム、有料老人ホーム等に入所している人 |
| 5    | 介護保険サービス未利用者調査      | 要支援・要介護認定者のうち、介護保険サービスを利用していない人               |
| 6    | 介護保険サービス事業者調査       | 西東京市内の介護保険関連施設・事業所及び市内地域包括支援センター              |
| 7    | 介護支援専門員調査           | 西東京市内の介護保険関連事業所に所属する介護支援専門員                   |
| 8    | 在宅医療と介護に関する調査       | 市内在住の40歳以上の要介護認定者のうち、令和元年8月に介護保険の訪問看護を利用している人 |
| 9    | 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査    | 他調査の対象となっていない、市内在住の65歳以上の人のうち、要介護1～5以外の人      |
| 10   | 医療機関調査              | 市内の医療機関（病院、一般診療所、歯科診療所、薬局等）                   |

## 2 まとめ

実施した調査を以下のとおり対象別に2つに分ける。なお、グラフにおける調査名は略称を用いて表記する。

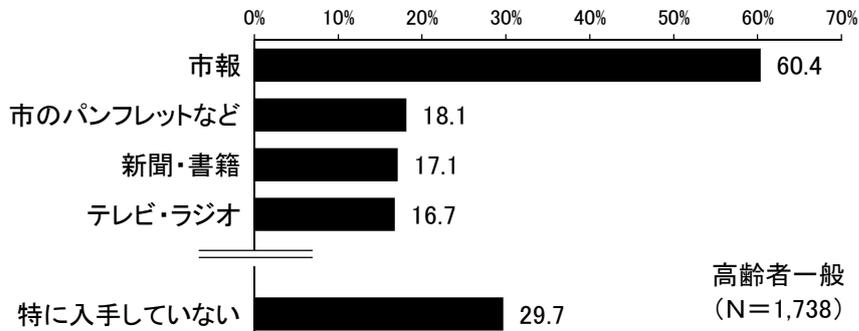
| 対象  | 調査種別                  | 略称     |
|-----|-----------------------|--------|
| 市民  | 1 高齢者一般調査             | 高齢者一般  |
|     | 2 若年者調査               | 若年者    |
|     | 3 介護保険在宅サービス利用者調査     | 在宅     |
|     | 4 介護保険施設・居住系サービス利用者調査 | 施設・居住系 |
|     | 5 介護保険サービス未利用者調査      | 未利用者   |
|     | 8 在宅医療と介護に関する調査       | 医療と介護  |
| 事業者 | 6 介護保険サービス事業者調査       | 事業者    |
|     | 7 介護支援専門員調査           | ケアマネ   |
|     | 10 医療機関調査             | 医療機関   |

### (1) 市民を対象とした調査（日々の暮らし等）

#### ①福祉情報の入手先について

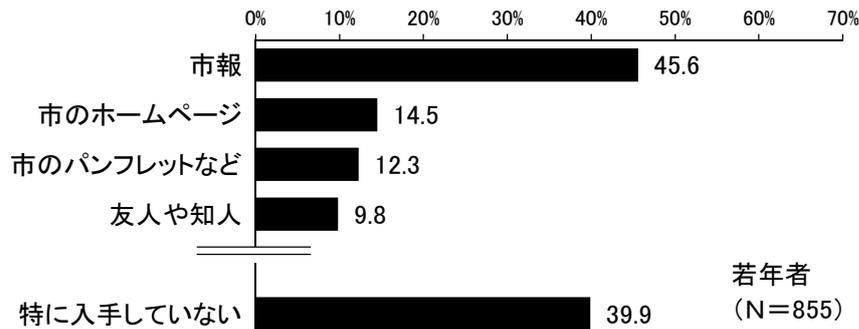
- ・福祉情報の入手先は「市報」が多いが、「特に入手していない」もやや多い。
- ・情報を入手していない人でも今後希望する情報入手先は「市報」が多いものの、若年者調査では「市のホームページ」が「市報」をやや上回っている。

【高齢者一般】 福祉情報の入手先（問7・複数回答） ※上位4つと一部抜粋



・今後希望する福祉情報の入手先は「市報」(62.2%)、「市役所」(53.5%)、市のパンフレット(26.7%)の順に多い

【若年者】 福祉情報の入手先（問7・複数回答） ※上位4つと一部抜粋

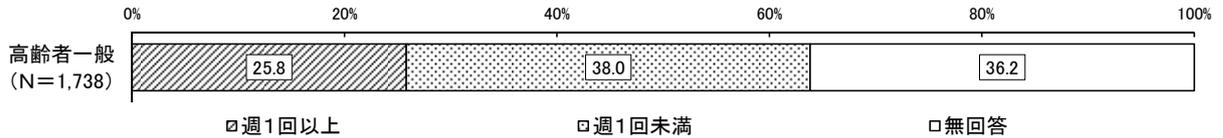


・今後希望する福祉情報の入手先は「市のホームページ」(62.5%)、「市報」(60.4%)、「市役所」(39.6%)の順に多い

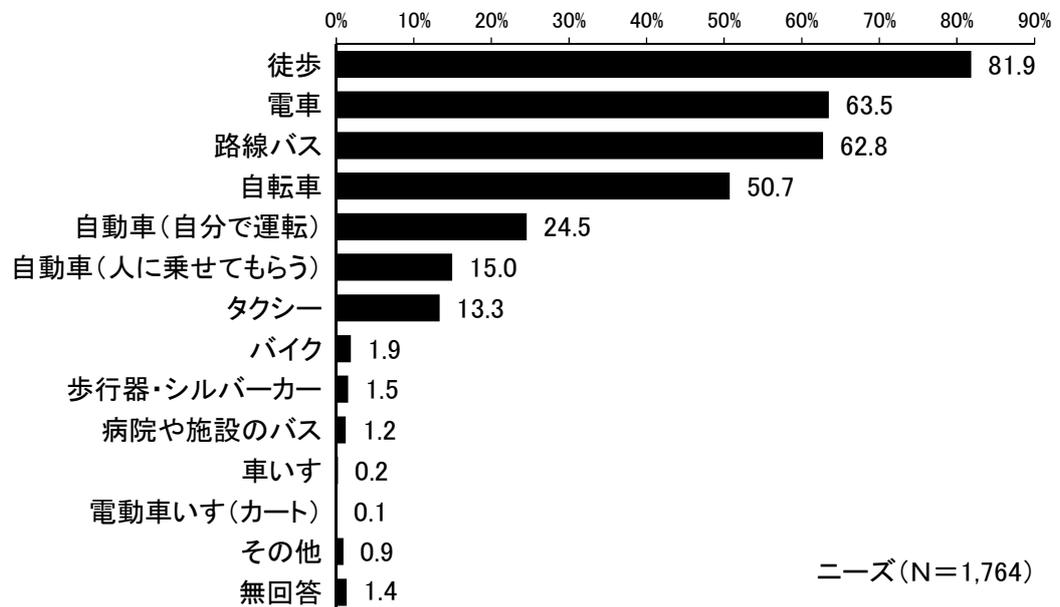
②外出の頻度、外出する際の移動手段

- ・買物及び通院やリハビリ以外での外出頻度については、4人に1人が「週1回以上」外出している。
- ・外出する際の移動手段は、「徒歩」が最も多く、次いで「電車」や「路線バス」など公共交通機関の利用が多い。

【高齢者一般】 買物及び通院やリハビリ以外での外出の頻度（問8・単一回答）



【ニーズ】 外出する際の移動手段（問19・複数回答）

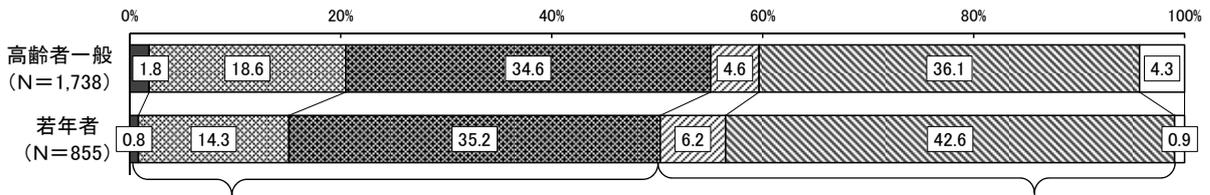


③地域の行事や活動への参加状況

- ・地域の行事や活動へは「まったく参加しない」が多く、次いで「頼まれれば参加・協力する」である。
- ・参加の理由は「この地域に住んでいる」や「地域との関わりを持ちたい」、参加しない理由は「興味の持てる行事や活動がない」や「友人や知人がいない」が多い。

【高齢者一般】 地域の行事や活動への参加状況（問13・単一回答）

【若年者】 地域の行事や活動への参加状況（問9・単一回答）



参加している理由

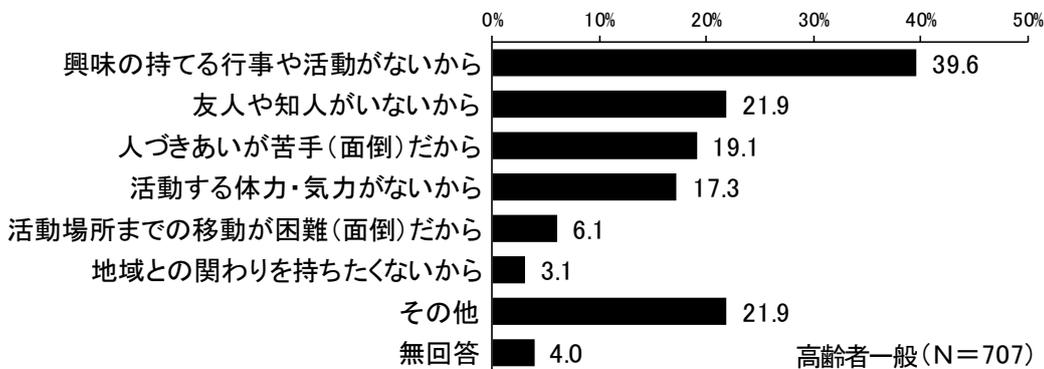
- ・【高齢者一般】「この地域に住んでいるから」(63.1%)、「地域との関わりを持ちたいから」(30.5%)
- ・【若年者】「この地域に住んでいるから」(66.0%)、「地域との関わりを持ちたいから」(27.7%)

- どの行事にも積極的に参加・協力する
- ▣関心があるものについては積極的に参加・協力する
- ▤頼まれれば参加・協力する
- 頼まれてもあまり参加・協力しない
- まったく参加しない
- 無回答

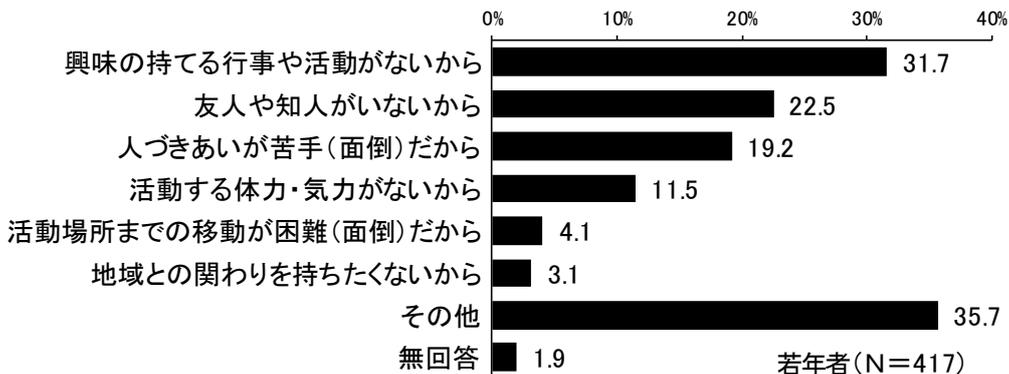
参加しない理由

- ・【高齢者一般】「興味の持てる行事や活動がないから」(39.6%)、「友人や知人がいないから」(21.9%)
- ・【若年者】「興味の持てる行事や活動がないから」(31.7%)、「友人や知人がいないから」(22.5%)

【高齢者一般】 参加しない理由（問13付問2・複数回答）



【若年者】 参加しない理由（問9付問2・複数回答）

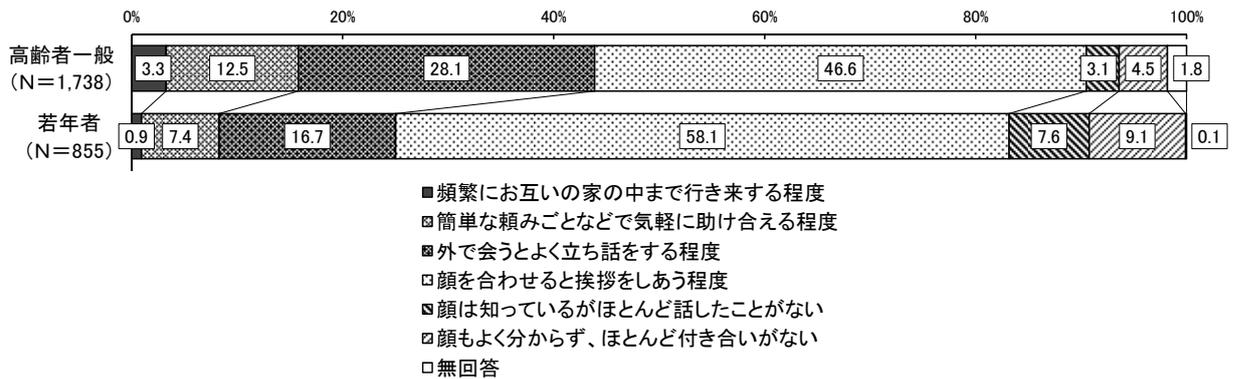


④隣近所との付き合いについて

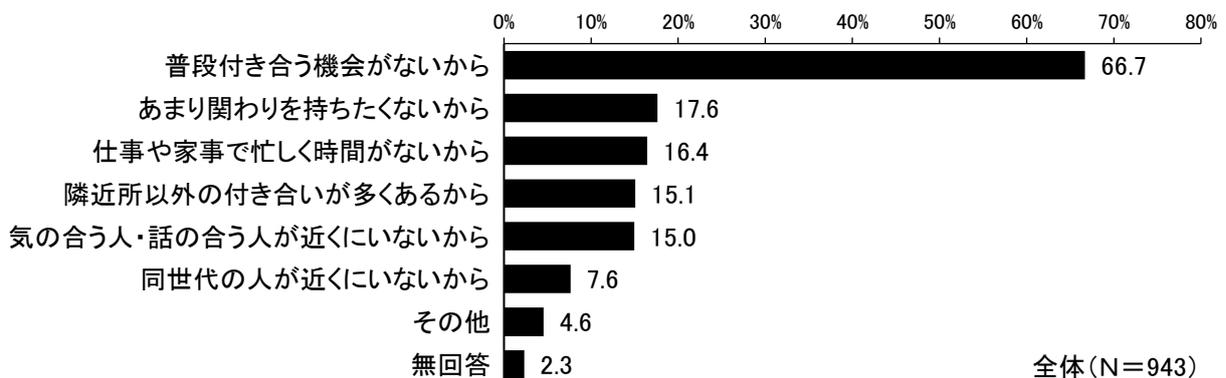
- ・近所付き合いは「顔を合わせると挨拶をしあう程度」が多い。
- ・近所付き合いのない理由は「普段から付き合う機会がない」ほかに、若年者調査では「仕事や家事が忙しい」こと、高齢者一般調査では「あまり関わりたくない」という理由も挙がっている。

【高齢者一般】 隣近所との付き合い（問12・単一回答）

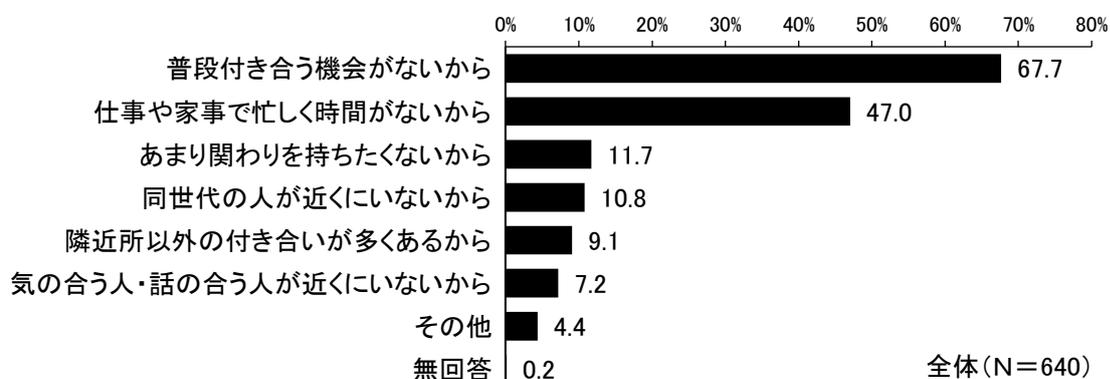
【若年者】 隣近所との付き合い（問8・単一回答）



【高齢者一般】 あまり近所付き合いのない理由（問12付問・複数回答）



【若年者】 あまり近所付き合いのない理由（問8付問・複数回答）

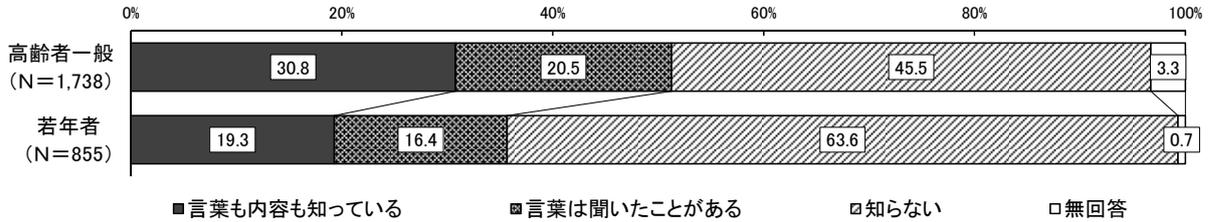


⑤フレイル予防について

・フレイル予防について「言葉も内容も知っている」人は、高齢者一般調査で3割程度、若年者調査では2割程度である。

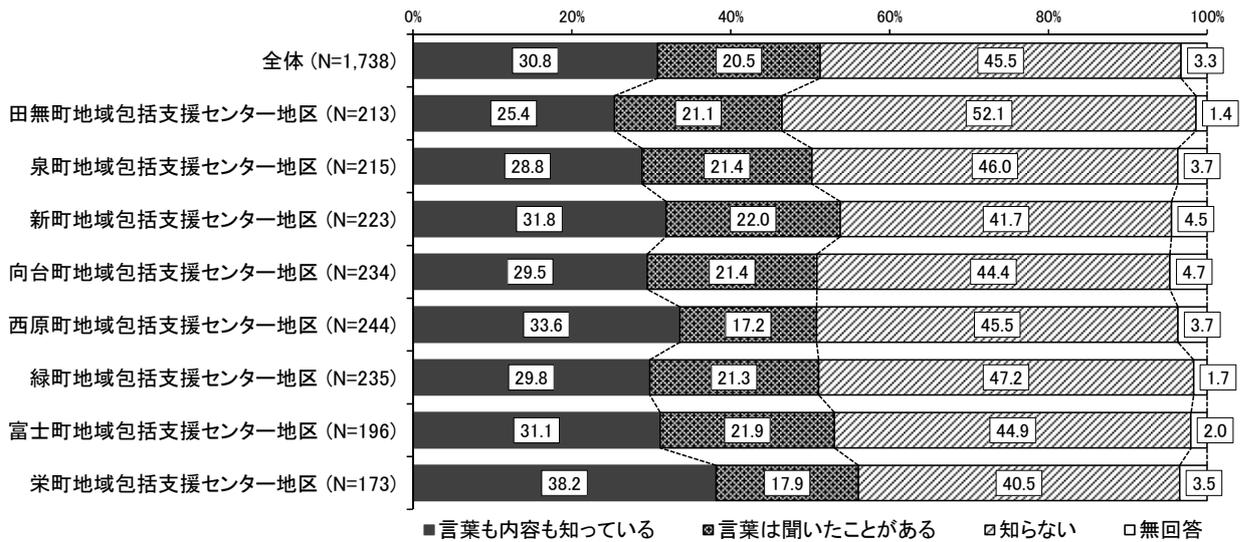
【高齢者一般】 フレイルの認知度 (問 19・単一回答)

【若年者】 フレイルの認知度 (問 14・単一回答)

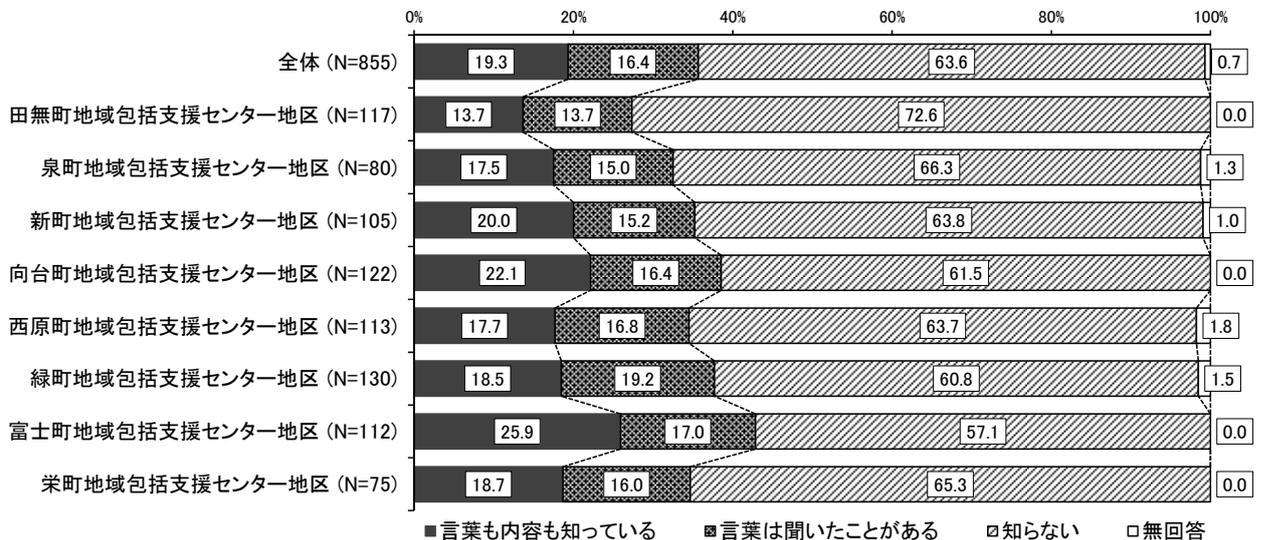


・地域包括支援センター地区別でみると、「言葉も内容も知っている」人は、高齢者一般調査では栄町、若年者調査では富士町が最も多い。

【高齢者一般】 【地域包括支援センター地区別】 フレイルの認知度 (問 19・単一回答)



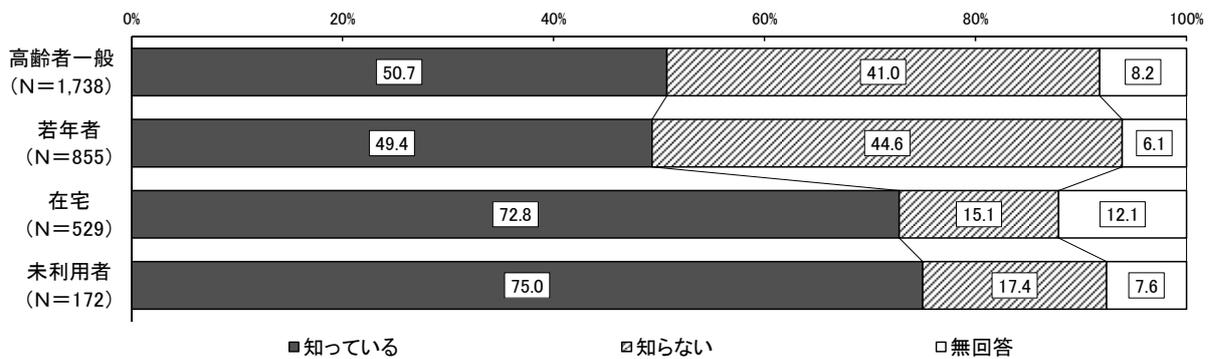
【若年者】 【地域包括支援センター地区別】 フレイルの認知度 (問 14・単一回答)



⑥地域包括支援センターについて

・地域包括支援センターを「知っている」人は、介護認定を受けていない高齢者一般調査や若年者調査で5割、介護認定を受けている人では7割を超える。

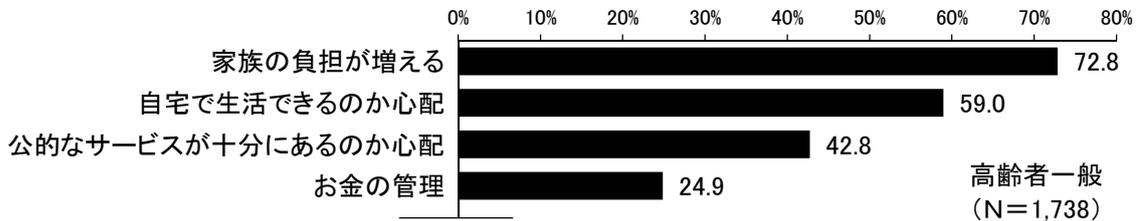
- 【高齢者一般】 地域包括支援センターの認知（問 35・単一回答）
- 【若年者】 地域包括支援センターの認知（問 31・単一回答）
- 【在宅】 地域包括支援センターの認知（問 30・単一回答）
- 【未利用者】 地域包括支援センターの認知（問 23・単一回答）



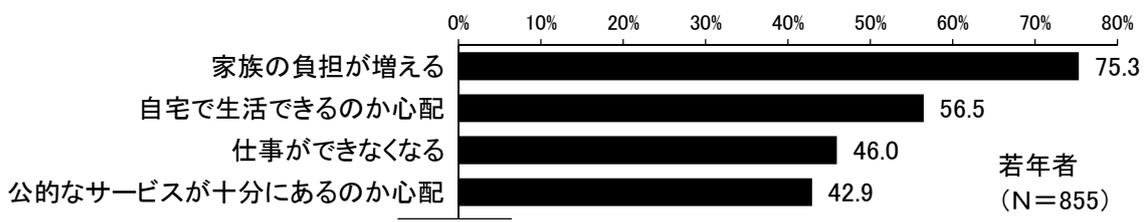
⑦認知症で心配なことについて

・認知症で心配なことは「家族の負担が増える」や「自宅で生活できるのか心配」が多い。

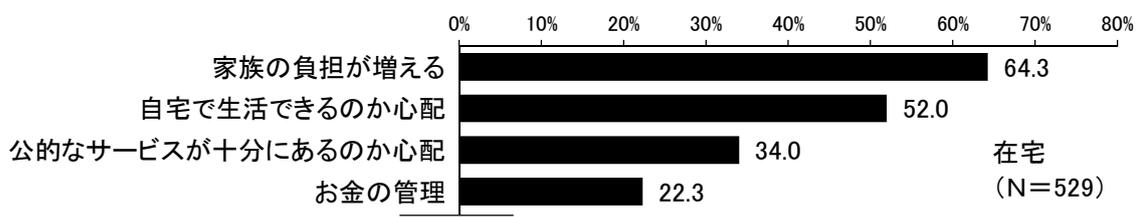
【高齢者一般】 認知症で心配なこと（問 29・複数回答） ※上位4つまで抜粋



【若年者】 若年性認知症で心配なこと（問 24・複数回答） ※上位4つまで抜粋



【在宅】 認知症で心配なこと（問 27・複数回答） ※上位4つまで抜粋



・若年者調査の性・年齢別にみると、男女ともに55～59歳では「仕事ができなくなる」や「収入がなくなる」が上の世代（60～64歳）より多い。

【若年者】 【性・年齢別】若年性認知症で心配なこと（問24・複数回答）

(%)

|                | 家族の負担が増える | が世話をしてくれる人がいない | 分的にあるサービスの心配 | 公的なサービスが十分 | か自宅で生活できるの心配 | 仕事ができなくなる | 収入がなくなる | 子育てができなくなる | なる親の介護ができなくなる | お金の管理 | 心配なことはない | その他  | 無回答 |
|----------------|-----------|----------------|--------------|------------|--------------|-----------|---------|------------|---------------|-------|----------|------|-----|
| 全体 (N=855)     | 75.3      | 28.2           | 42.9         | 56.5       | 46.0         | 40.6      | 2.1     | 13.7       | 36.8          | 1.3   | 2.0      | 1.6  |     |
| 男性             |           |                |              |            |              |           |         |            |               |       |          |      |     |
| 55～59歳 (N=217) | 72.8      | 28.1           | 42.4         | 50.2       | 56.7         | 47.5      | 1.8     | 10.6       | 40.6          | 0.5   | 1.4      | 0.9  |     |
| 60～64歳 (N=168) | 76.2      | 26.8           | 39.3         | 54.8       | 44.0         | 32.7      | 1.2     | 7.7        | 22.6          | 3.0   | 3.6      | 1.8  |     |
| 女性             |           |                |              |            |              |           |         |            |               |       |          |      |     |
| 55～59歳 (N=239) | 77.4      | 32.2           | 44.4         | 58.2       | 52.3         | 49.0      | 3.8     | 21.3       | 44.4          | 1.3   | 0.4      | 0.8  |     |
| 60～64歳 (N=207) | 76.8      | 27.1           | 47.8         | 64.3       | 30.9         | 30.4      | 1.4     | 14.5       | 38.2          | 1.0   | 2.4      | 1.9  |     |
| 無回答 (N=24)     | 58.3      | 8.3            | 16.7         | 41.7       | 29.2         | 37.5      | 0.0     | 0.0        | 16.7          | 0.0   | 8.3      | 12.5 |     |

⑧今後の希望（人生の最期の居場所）について

・人生の最期に希望する居場所は「自宅」が最も多い。

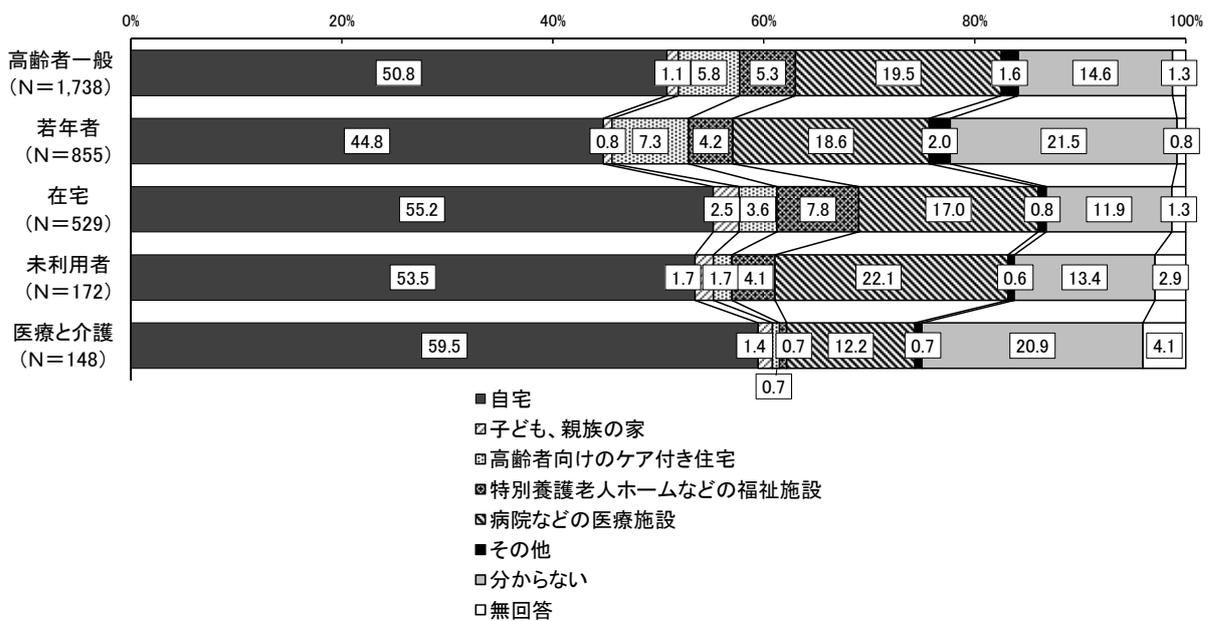
【高齢者一般】 今後の希望（人生の最期の居場所）について（問24・単一回答）

【若年者】 今後の希望（人生の最期の居場所）について（問19・単一回答）

【在宅】 今後の希望（人生の最期の居場所）について（問12・単一回答）

【未利用者】 今後の希望（人生の最期の居場所）について（問14・単一回答）

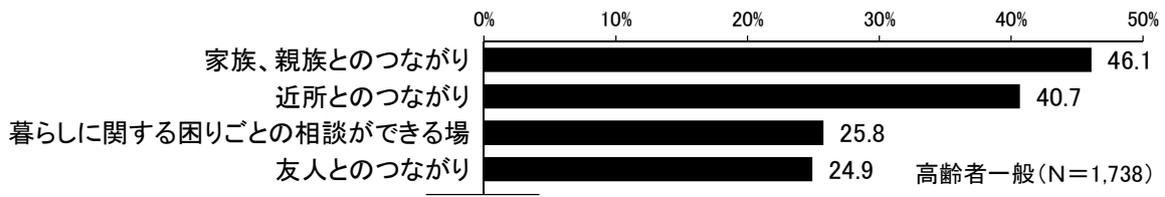
【医療と介護】 今後の希望（人生の最期の居場所）について（問26・単一回答）



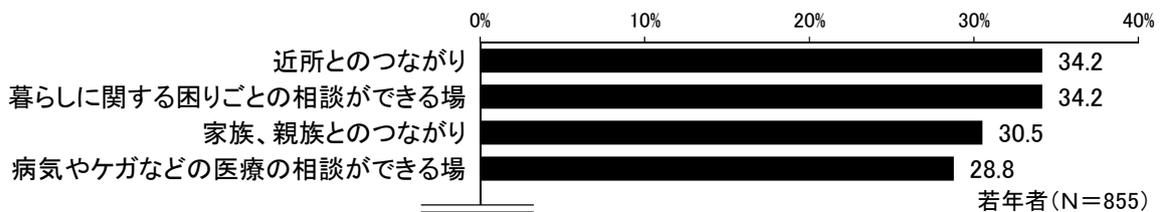
⑨ 今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと

- ・ 今後地域で暮らしていくために必要だと思うことは、「家族、親族とのつながり」「近所とのつながり」「暮らしに関する困りごとの相談ができる場」が多い。
- ・ 高齢者一般調査では4番目に「友人とのつながり」が多く、若年者調査では「病気やケガなどの医療の相談ができる場」が多くなっている。

【高齢者一般】 今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと（問37・複数回答（3つまで））  
※上位4つまで抜粋



【若年者】 今後地域で暮らしていくために必要だと思うこと（問33・複数回答（3つまで））  
※上位4つまで抜粋

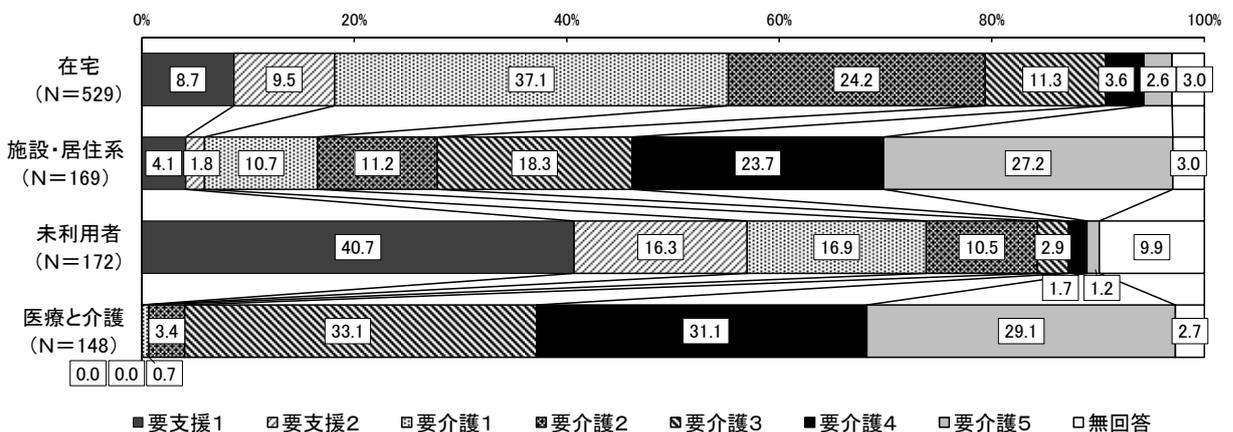


(2) 市民を対象とした調査（介護保険制度関係）

① 現在の介護度

- ・ 在宅サービス利用者では要介護1が多い。
- ・ 施設・居住系サービス利用者や在宅医療の利用者では要介護3以上が多い。

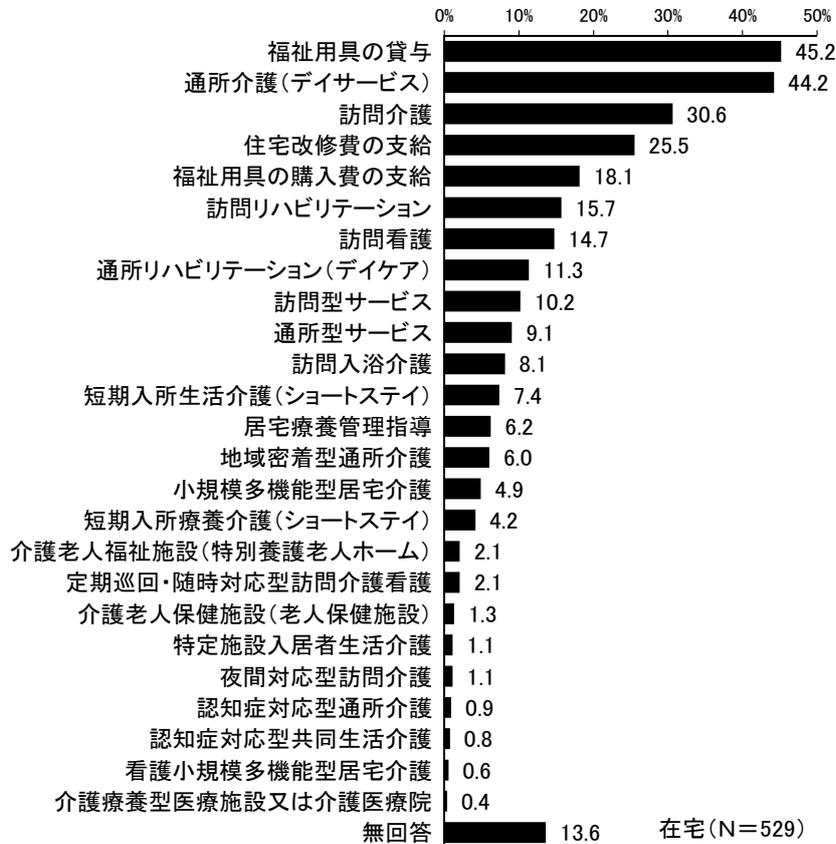
【在宅】 現在の介護度（問7・単一回答）  
【施設・居住系】 現在の介護度（問4・単一回答）  
【未利用者】 現在の介護度（問17・単一回答）  
【医療と介護】 現在の介護度（問7・単一回答）



②現在利用しているサービス

・在宅サービス利用者では「福祉用具の貸与」や「通所介護」の利用が多い。

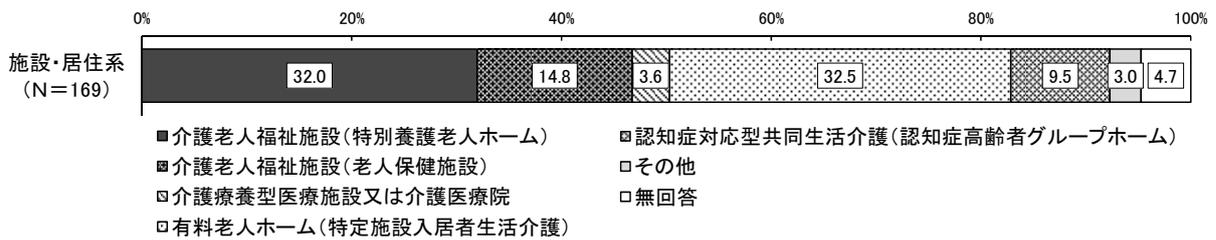
【在宅】 現在利用しているサービス（問15（1）・複数回答）



③施設の種類の種類

・施設・居住系サービス利用者では「有料老人ホーム（特定施設入居者生活介護）」や「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の利用者が多い。

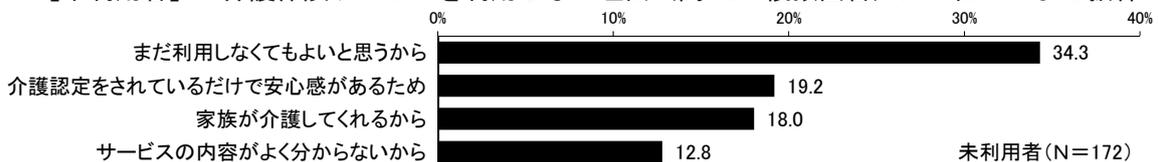
【施設・居住系】 施設の種類の種類（問5・単一回答）



④介護保険サービスを利用しない理由

・介護保険サービスを利用していない理由は「まだ利用しなくてもよいと思うから」が最も多く、「介護認定をされているだけで安心感がある」や「家族が介護してくれる」が続く。

【未利用者】 介護保険サービスを利用しない理由（問19・複数回答）※上位4つまで抜粋

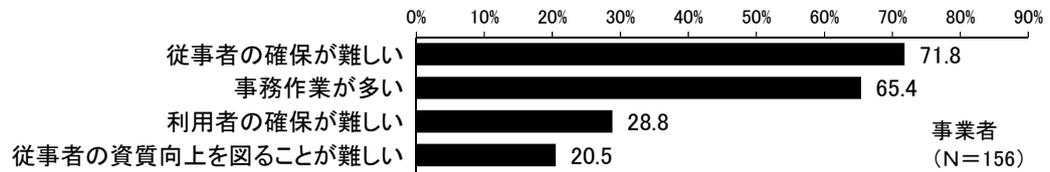


### (3) 事業者を対象とした調査

#### ①事業の運営や実施における課題について

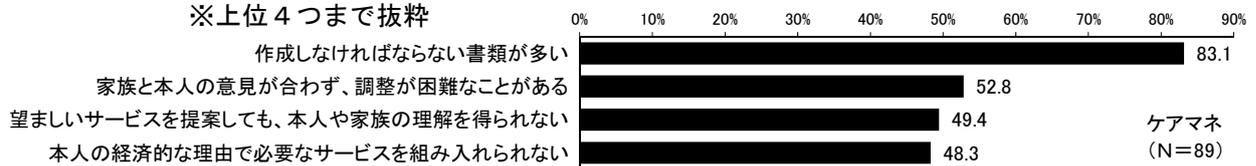
・事業の運営や実施における課題は「人材の確保」「事務作業の繁雑さ」「利用者ニーズの確保」などが挙げられている。

【事業者】 事業運営上で困難に感じていること（問4・複数回答） ※上位4つまで抜粋

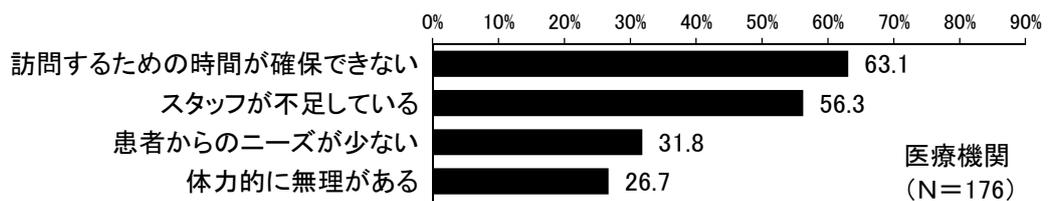


【ケアマネ】 ケアマネジメントする上で困難を感じていること（問8・複数回答）

※上位4つまで抜粋



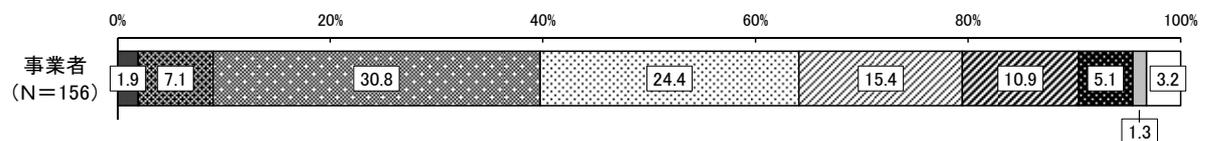
【医療機関】 在宅医療を実施する上での課題（問4・複数回答） ※上位4つまで抜粋



#### ②前年比の収支状況、前年比の収支変化の理由

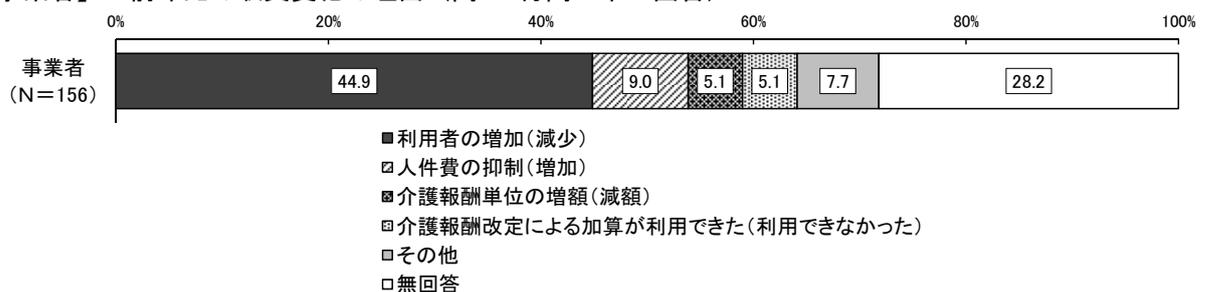
・前年比の収支状況が「増えた」事業者が4割、「減った」事業者が3割となっている。  
 ・収支変化の理由としては「利用者の増加（減少）」が最も多い。

【事業者】 前年比の収支状況（問21・単一回答）



■大きく増えた ■増えた ■少し増えた □変わらない □少し減った □減った ■大きく減った □新規開設により前年と比較できない □無回答

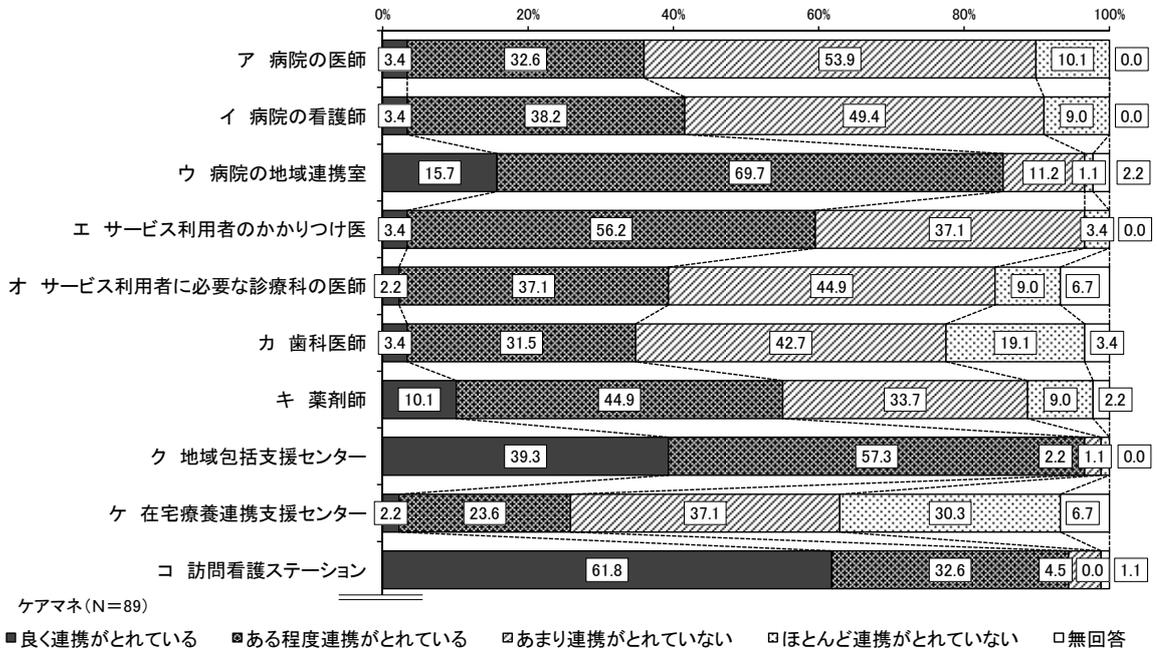
【事業者】 前年比の収支変化の理由（問21付問・単一回答）



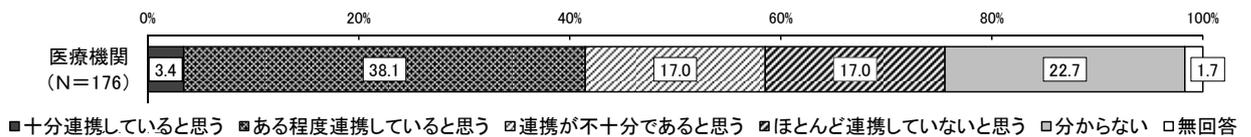
③医療と介護の連携状況について

・医療と介護の連携状況について、「連携している」は介護支援専門員では職種によって差があり、医療機関では4割程度となっている。一方、介護サービス事業者で医療的ケアを「すでに実施している」は1割程度に留まる。

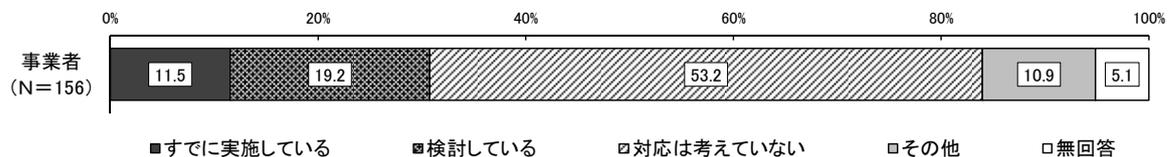
【ケアマネ】 関係機関、職種との連携状況（問18・単一回答） ※一部抜粋



【医療機関】 医療と介護の連携状況（問13・単一回答）



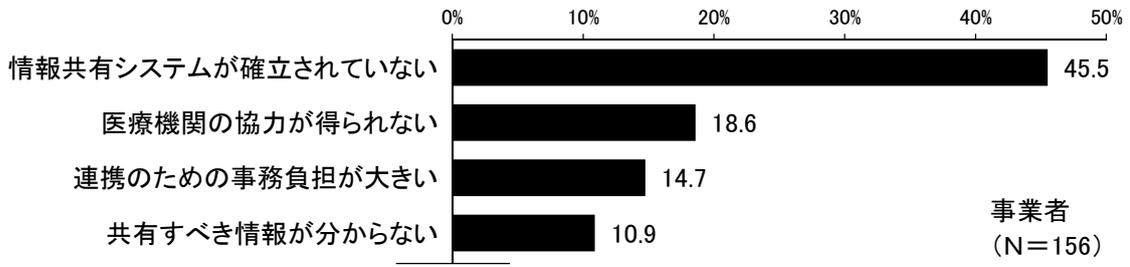
【事業者】 医療的ケアへの対応（問10・単一回答）



④医療と介護の連携の課題について

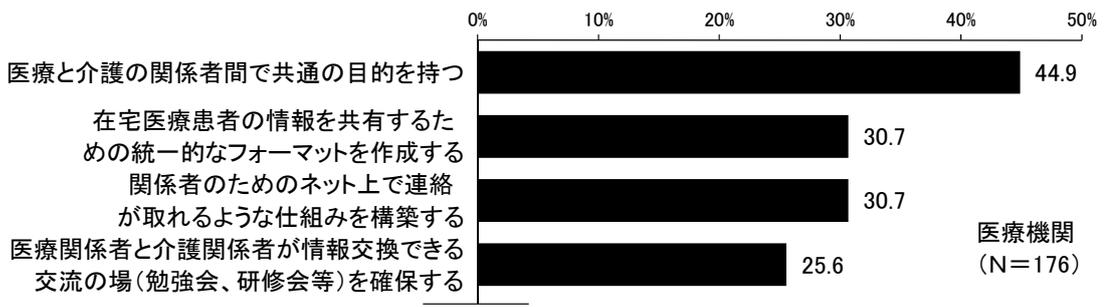
・医療と介護の連携における課題として、介護サービス事業者からは「情報共有システムの確立」、医療機関からは「（医療側と介護側が）共通の目的を持つこと」が挙げられている。介護支援専門員からは在宅療養の不足機能として「介護保険施設」に次いで「関係者によるチームケア」が挙げられている。

【事業者】 医療機関との連携における課題（問12・複数回答） ※上位4つまで抜粋

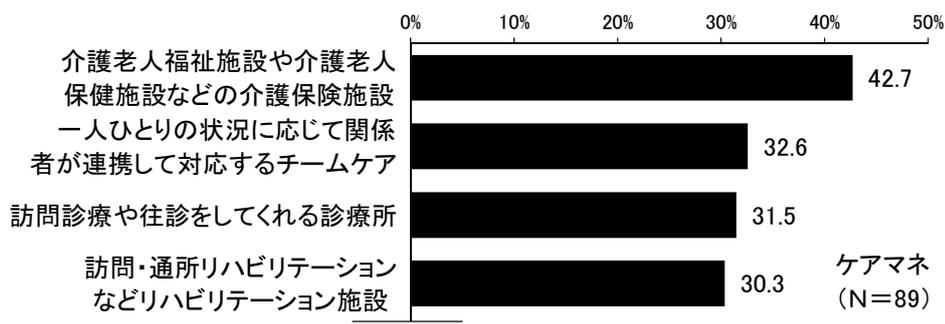


【医療機関】 医療職と介護職の連携のために充実すべきこと（問16・複数回答）

※上位4つまで抜粋



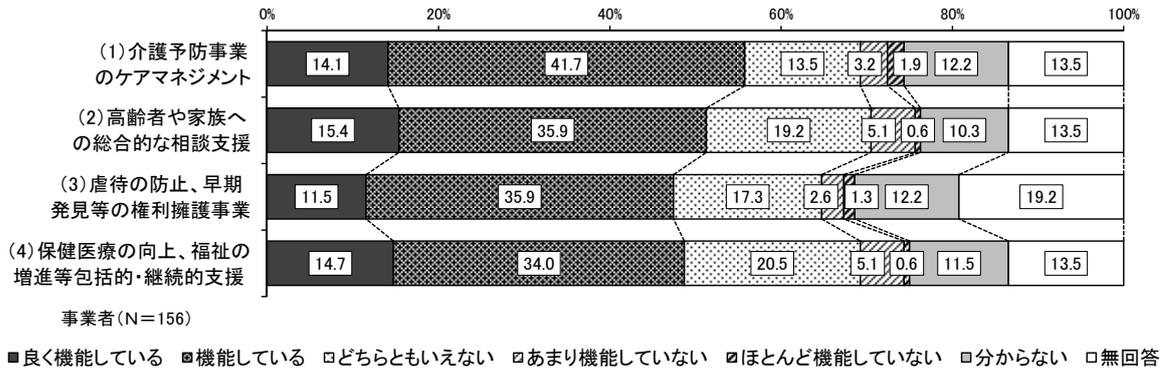
【ケアマネ】 在宅療養で不足している機能（問19・複数回答） ※上位4つまで抜粋



⑤地域包括支援センターについて

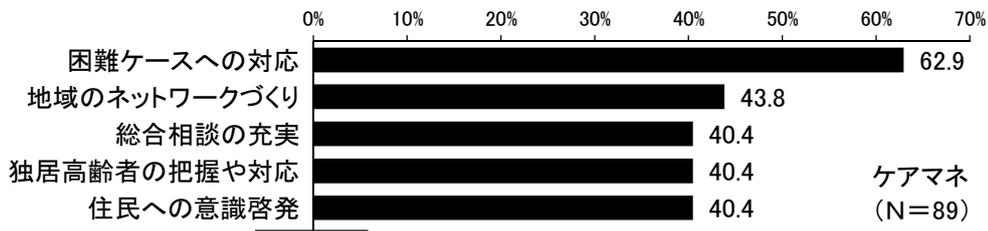
・地域包括支援センターについて、介護保険サービス事業者からみたセンターの役割は概ね5割程度が「機能している」とみており、介護支援専門員は「困難ケースへの対応」をこれからの地域包括支援センターに期待している。一方、地域包括支援センターと「連携している」と答えた医療機関は1割程度である。

【事業者】 地域包括支援センターの4つの役割の機能状況（問20・単一回答）



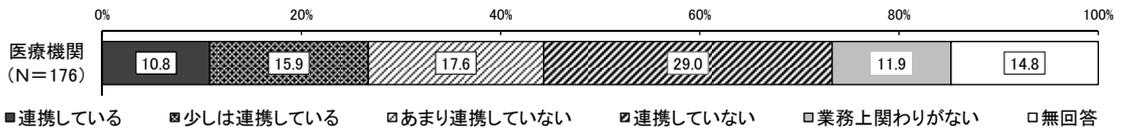
【ケアマネ】 これからの地域包括支援センターに期待すること（問20・複数回答）

※上位5つまで抜粋



【医療機関】 患者に関わる関係機関、職種との連携状況（問14・単一回答）

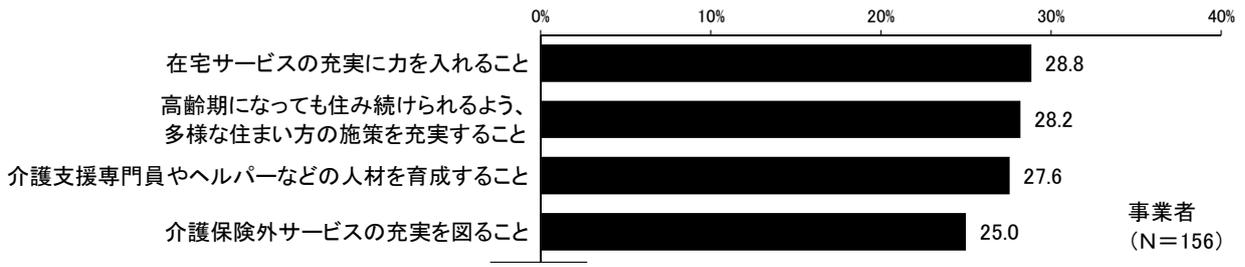
※地域包括支援センターのみ抜粋



⑥介護保険制度全体のための重点事項

・介護保険サービス事業者からは、市が力をいれるべきこととして、「在宅サービスの充実」「多様な住まい方の施策の充実」「人材育成」が挙がっており、介護支援専門員からは「多様な住まい方の施策の充実」のほか、「介護保険外サービスの充実」や「市民への啓発・PR」が挙げられている。

【事業者】 介護保険制度全体をよくするために市が力をいれるべきこと（問29・複数回答）  
※上位4つまで抜粋



【ケアマネ】 介護保険制度全体をよくするために市が力をいれるべきこと（問22・複数回答）  
※上位4つまで抜粋

